

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	へき地歯科巡回診療車運営事業			担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度	昭和45年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課			課長：田口 円裕			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成22年5月20日医政発0520第九「第十一次へき地保健医療計画等の策定について」						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無歯科医地区及び無歯科医地区に準ずる地区(以下、「無歯科医地区等」という。)に対し巡回診療を行い、へき地における住民の歯科医療の確保。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	無歯科医地区等において、地方公共団体等が行う巡回診療車の運営等に必要経費に対する財政支援を行う。 補助対象経費：報酬、給料、賃金、旅費、報償費、需用費等 補助率：1/2(国1/2、都道府県1/2)										
実施方法	補助										
予算額・執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	3	3	2	2	2				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		3	3	2	2	2				
	執行額		2	1	2	-					
執行率(%)		67%	33%	100%	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		67%	33%	100%	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療施設運営費等補助金		2	2							
	計		2	2							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	前年同程度の巡回診療を実施する。		受診患者数 ※28年度は見込み		成果実績	人	623	856	856	-	-
					目標値	人	805	623	856	-	856
					達成度	%	77.4	137.4	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		へき地歯科巡回診療車運営事業実績報告書									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	へき地における無歯科医地区への巡回診療回数				活動実績	回	105	109	87	-	87
					当初見込み	回	26	74	74	87	87
単位当たり コスト	算出根拠					単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y				単位当たりコスト	千円	2.5	2.3	2.3	2.3	
X:「執行額(29年度は予算額)」 Y:「受診患者数(29年度は目標値)」				計算式	X/Y	2/805	2/856	2/856	2/856		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	へき地における無歯科医地区への巡回診療回数が増加するごとに、受診患者数も増加するという効果が見込めることから、「社会保障・税の一体改革大綱」(平成24年2月17日閣議決定)における「どこに住んでいても、その人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会を目指す」という目的に合致し、地域における医療提供体制の確保をより一層促進できる。										
	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	無歯科医地区等における安定した歯科医療の確保という国民や社会のニーズを反映しているものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	当該事業は、無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的として、安心した歯科医療環境の確保のためにも国が行うべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	-
		競争性のない随意契約となったものはないか。		無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	交付要綱において補助対象経費、補助率(1/2)を定め、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業実施に必要な経費のみを補助対象としており、コスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績は成果目標に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込みに見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため事業実施に必要な予算を確保している。平成28年度は栃木県と鹿児島県で事業を実施しており、へき地における歯科医療の確保を図るうえで、当該事業は必要である。			
	改善の方向性	事業の内容・規模・予算額等について精査し、適切な執行をして参りたい。			

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

執行率100%であり、一定の成果も出ていることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	35	平成23年度	30	平成24年度	31		
平成25年度	10	平成26年度	10	平成27年度	9		
平成28年度	9						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省2百万円

〔 地方公共団体等が行う、巡回歯科診療の運営費に対する補助。 〕

↓ 【補助金等交付】

A 都道府県(2) 2百万円

〔 巡回歯科診療の実施。 〕

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.鹿児島県			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	事業を実施する歯科医師の給与	1			
計		1	計		0

